

クリエイタービジネス論リサーチプロジェクト 2023 感想

国際日本学部 国際日本学科 1年

町田 璃胡

私が今回クリエイタービジネス論でのリサーチプロジェクトに参加しようと思った理由は、人々が普段どのように音楽と関わっているのかということに興味があったからです。その中でも特に、CDの在り方について興味がありました。今日では音楽サブスクリプションが普及しており、CDを介して音楽を聴取する機会やCDそのものを目的にCDを手に入る機会が減っていると感じています。そのため、CDや音楽サブスクリプションに関する現状や人々の考えを知ることができおもしろかったです。

また、今回の音楽調査では2020年から始まった新型コロナウイルス禍を通しての変化が調査結果に反映されているため、コロナ禍以前の2019年の音楽調査をはじめとした2022年以前の音楽調査と比較することでより良い調査になったのではないかと考えます。2023年の音楽調査だけでなくこれまでの音楽調査の結果も見ていただけるとおもしろいと思います。加えて、今回はコロナ禍が明けてすぐの調査であったため、2024年以降に行われる調査ではコロナ禍が明けて以降さらにどのような変化がみられるのか非常に興味深いです。

最後に、このリサーチプロジェクトでは、大学1年生～4年生までのメンバーが参加しています。私は大学1年生ではじめはとても緊張していましたが、メンバーの方々や原田先生がサポートしてくださり自分なりに努められたプロジェクトになったのではないかと思います。また今回のリサーチプロジェクトを通してメンバーそれぞれの音楽に関することへの考え方やその他幅広い話を聞くことができ、楽しく非常に有意義な経験になったと感じています。皆さん忙しい中でスケジュールを調整してミーティングを繰り返し行ったり、調査報告の準備を行ったりと大変な部分もありましたが、その分良い調査を行えたと思いますので多くの方に見ていただけたら幸いです。リサーチプロジェクトのメンバーの皆様、原田先生、このプロジェクトに携わってくださった皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。